



おおくぼ

学校教育目標 ゆめにむかって かしこく やさしく たくましく
～ふるさとを愛し、志高く生きる、心優しい大久保の子ども～

令和2年11月2日第7号

さいたま市立大久保小学校

さいたま市桜区五関21

048(854)7636

男子120名女子114名 計234名

いただきますとごちそうさま

校長 金子 要一

今年、臨時休校に関連して土曜授業や給食が無い日を設定するなど、いつもとは違う学校生活を送っています。また、遠足や社会科見学も例年実施する時期に行けていません。そんな状況下、1、2年生は、お弁当持参の日に荒川総合運動公園に徒歩で出かけ、土手でそり滑りをしたり、みんなで**お弁当**を食べたりしました。3、4年生も昨日、実施しました。



また、5月に予定していた運動会が中止になり、授業参観もできない中、何とか子どもたちが元気に活動している様子を保護者の皆様にご覧いただこうと、先日、**全学年が体育の授業**を公開しました。授業は1、2、3時間目に2学年ずつ、**校庭**と**体育館**で密を避けて行いました。本来は土曜授業の日に行う予定でしたが、雨のため翌週の火曜日に延期しました。「平日の午前」という心配をよそに、**多くの保護者**の方々に来ていただきました。子どもたちも親御さんを見つけて手を振ったり、**にこやかに**、そして**真剣**に体育の授業に取り組んでいました。こういう時だからこそ、知恵を絞っていこうと考えています。

さて、今月23日は「**勤労感謝の日**」です。「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」という趣旨で制定された国民の祝日です。勤労感謝の日は、「新嘗祭（いなめさい）」という祭祀（さいし）に由来します。新嘗はその年に収穫された米、大麦、小麦などの穀物を神様に差し上げて恵に感謝し、食べるという意味です。現在は、農作物に限らずすべての物の**生産を祝い、勤労をねぎらう**ことになっていますが、その由来から、日本人が育んできた人や物に感謝する思いを感じることができます。

このような日本人の感性は、日常でも見受けられます。ご飯が食べられることに感謝するだけでなく料理を食べるまでにかかわってくれた**多くの人**にも感謝の気持ちを表したのが「いただきます」「ごちそうさま」という言葉です。

「**いただきます**」は、料理を作り、運び、また、野菜を作り、魚を獲り、食肉になる動物を育てるなど、その**食事ができるまで**に携わってくれた方々へ**感謝**の気持ちを表しています。そして、魚や肉はもちろんのこと野菜や果物にも**命がある**と考え、「**あなたの命を私の命にさせていただきます**」とすべての食材に感謝して「いただきます」と言うのです。

「**ごちそうさま**」は、漢字で書くと「御馳走さま」で、「御」は丁寧を表す漢字、「馳走」はどちらも「はしる」という意味です。昔は大切なお客様をもてなすためには走り回って食材を集める必要がありました。ここから、手厚い**もてなしを受けた時のお礼**として「ごちそうさま」と言ったのです。それが近代になり食後の言葉として使うようになりました。

食前食後にこのような気持ちを持ち、あいさつする国は日本くらいだそうです。**食事を粗末にすることは命や人の思いを粗末にすること**だと改めて感じました。これは食育にもつながることです。

ちなみに、本校は一昨年**3年間、体育と食育の研究**をし、本来なら10月30日がその**集大成である研究発表の日**でした。しかし、現在の状況から残念ながら授業公開はせず、**研究成果の詰まった印刷物**を市内各校に**配布する形での発表**となりました。